

# 会 議 録

- 1 会議名称 令和7年度 第1回 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会
- 2 報 告 (1) 市民太陽光発電所・市民還元事業検討懇話会の体制について  
(2) 市民太陽光発電所の近況について
- 3 議 題 (1) 令和6年度 市民還元事業の実施報告について  
(2) 令和7年度 市民還元事業の実施状況について  
(3) 令和8年度 市民還元事業の実施方針について
- 4 開催日時 令和7年8月6日(木) 10時00分～11時10分
- 5 開催場所 北九州市役所15階 15D会議室  
(北九州市小倉北区城内1-1)
- 6 出席構成員 北九州商工会議所 専務理事 羽田野 隆士  
北九州市PTA協議会 会長 穴井 秀和  
北九州ESD協議会 会員 泉 優佳理  
クロスFM ナビゲーター 立山 律子  
※座長以外は、五十音順

## 7 議事の概要

### (1) 令和6年度 市民還元事業の実施報告について

令和6年度の市民還元事業について、実施内容を報告した。

#### 1 子どものためのART for SDGs ワークショップ事業

・アート作品の補修を通じて、芸術祭のボランティアの方々や市民団体による藍島の清掃活動等とも連携を行い、作品への理解を深める機会を創出した。

#### 2 門司港レトロ地区回遊性向上事業

・和布刈地区の歴史的スポットの認知度向上、回遊性向上を目的として、和布刈地区の歴史スポットを回遊する謎解きゲームを実施した。

#### 3 みなとの魅力再発見事業

・「海」や「みなと」、「帆船」に関するさまざまな体験型等のイベントを通じて、多くの市民に「みなと」の魅力を再認識・再発見していただく機会を創出した。

#### 4 小倉南区制50周年記念事業～みなみ区彩発見！

・「まつりみなみ」を開催し、区民みんなで南区の歴史を振り返る事業など地域の活性化につながる取組みを実施した。また、子ども達の健やかな成長を願い、「子どもまつり」を開催した。

#### 5 ウォーカブルなまち・戸畑の魅力創出事業

・とばた愛称募集&お散歩フォトコンテストや、戸畑区大学・高校合同学園祭「文教祭」、まちづくりワークショップを実施して、まちのにぎわい創出に寄与した。

## 6 未来の地域人材育成事業

- ・デジタル化導入を希望する自治会等と、支援に取り組むNPOとの協働による、地域のLINE公式アカウントを開設して、情報配信環境の整備を支援した。

## 7 食と笑顔でつながる子ども食堂食育活動事業

- ・食堂の認知度向上や企業等からの協力・寄付等の増加を図るため、イベントにおいて、子ども食堂啓発ブースを設置して普及啓発を行った。

## 8 「北九州市エコロボ・アイデアコンクール」実施事業

- ・子どもの環境意識の醸成等のため、小中学生を対象に環境問題を解決する機械のアイデアについて、募集を行い、受賞作品の表彰・授与展示式を行った。

## 9 小倉城を中心とした周辺にぎわい創出事業（小倉城竹あかりPR事業）

- ・国内外からの観光客増加を図るため、チラシやSNS広告により「小倉城竹あかり」のPRを実施して、観光客の誘致とまちのにぎわいを創出した。

## 10 北九州空港体験ツアー事業

- ・空港に馴染みをもってもらい、今後の利用促進に繋げるため、北九州空港内の施設及びスターフライヤー社の施設での親子体験ツアーを開催した。

## 11 幻想的な夜間空間演出によるナイトエコノミー

### 「門司港ナイトバブルイベント2024」

- ・イルミネーションの点灯式に合わせて、シャボン玉による「ナイトバブル」を実施し、SNS等により本市の魅力を発信した。

## 12 ～門司の歴史・魅力を再発見～門司125周年記念事業

- ・門司と下関の親睦を深める目的で1959年に行われていた「野球大会」を64年ぶりに復活させ、野球を通して新たな人流や交流の活性化を図った。

## 13 小倉祇園太鼓塾 未来の担い手育成事業

- ・「出張！小倉祇園太鼓塾」や「レクチャー動画「太鼓でドドン」を活用した太鼓体験会」を実施して、幅広い未来の担い手育成に取り組んだ。

## 14 若松北海岸の魅力発信イベント「若松北海岸フェス」

- ・若松北海岸フェスティバル2025の期間中にイベントやキャンペーンを実施若松北海岸の周遊を促して、若松区への観光客増加を図った。

## 15 若松と子どもの未来をつなぐキャンプ！

### ～Z世代が企画する若松の魅力を学ぶ小学生向け体験事業～

- ・Z世代の企画力を活かしたキャンプ活動を通じて、子ども達の感受性・自立性・コミュニケーション力等をそれぞれ高める取組を行った。

## 16 東田地区（スペースワールド駅前広場）から八幡の魅力を発信！

### （仮称）「八幡東田バル&マルシェ」

- ・枝光本町商店街での夜市や音楽イベント、八幡中央区商店街での子ども食堂や子ども向けイベントを開催して、両商店街への回遊等を促進した。

## 17 八幡西区制50周年記念「出張！なんでも講演団」事業

### ～八幡西区の未来のために、今、伝えよう～

- ・「子ども山笠」や長崎街道木屋瀬宿記念館での「そうめん流し」等を体験してもらう催しを実施し、地域の魅力を新発見・再認識する機会を創出した。

18 八幡西区制50周年記念 八幡南お盆まつりと大花火大会

- ・「八幡南お盆まつりと花火大会」において、仕掛け花火やレーザーと音楽を駆使した打上げ花火を実施し、多くの人で賑わった。

19 kitakyu スーガク+（プラス）による理工系人材育成推進

- ・中学生を対象に、数学的思考力等を競い合う「第2回 スー1★GP」を開催し、将来、北九州市を支える理工系人材の育成に繋げるイベントを実施した。

(2) 令和7年度 市民還元事業の実施状況について

令和7年度の市民還元事業について、申請額が300万円を超える事業、その他の事業、小規模還元事業の区分に沿って、実施内容、実施時期について説明した。

(3) 令和8年度 市民還元事業の実施方針について

以下のとおり、令和8年度の市民還元事業の実施方針を説明した。

募集事業

- ・「市政50周年記念事業の基本構想」を、市民還元事業の基本理念とする。
- ・令和8年度の募集については、この基本理念を踏まえた上で、北九州市の新ビジョンに掲げる3つの重点戦略の実現に寄与する事業を募集したい。

《市制50周年基本構想の4つテーマ》

- ① 市民や地域の力を活かしながら一体となることで、まちの力をさらに引き出す
- ② 郷土・故郷への愛情を深め、誇りを高める
- ③ 本市の強みを国内外に向けてアピールし、まちに人を呼び込む
- ④ 将来を担う子ども達に夢や希望を与える

《新ビジョンの3つの重点戦略》

- ① 「稼げるまち」の実現
- ② 「彩あるまち」の実現
- ③ 「安らぐまち」の実現

選定方法

- ・庁内へ事業を募集し、検討懇話会の意見を聴取したうえで選定を行う。
- ・申請額が300万円を超える事業は、第2回の検討懇話会で、プレゼンテーションを実施する。

## 8 経 過（発言内容）

### （1）令和6年度市民還元事業の実施報告に関する意見

- ・「未来の地域人材育成事業」について、予算額に対して、決算額が約10分の1である。最初から決算額を見込んで予算がたてられていたら、他の事業も選定できたのではないかと思う。  
⇒今年度は、モデル地区として2つの地区を選定して実施した。確かに予算額と決算額の乖離があるため、来年度以降は、できる限り乖離がないように周知したい。（事務局回答）
- ・「Kitakyu スーガク+（プラス）による理工系人材育成推進」について、次世代教育を推進している。今後も継続してほしい事業である。

### （2）令和8年度市民還元事業の実施方針に関する意見

- ・令和8年度の実施方針は、「市民還元に寄与するものを、なるべく万遍なく幅広くに募集する」を実現している方針と思う。
- ・事業によっては、PRのみで、何かが残る感じがしない内容であった。例えば、PRは全体事業費の何%までなど一定の決まりは必要ないのか。  
⇒民間が実施する部分と、市が実施する部分を合わせて、一つの事業が成り立つことがある。該当事業は、市が求められる役割として、PRを主に実施する事業であった。今後も、民間ではできないことを市として支援していきたいと考えている。（事務局回答）
- ・市民還元事業は、利益がある限り継続していく事業なのか。  
⇒固定価格買取制度により、設置した平成25年から20年間は継続して売電収入が得られる契約となっている。また、当初見込んでいた売電収入よりが増加している状況である。（事務局回答）
- ・子ども達のために、老朽化した施設（備品）関連に還元事業が使えないだろうか。例えば、設置した施設（備品）関連に太陽光発電事業のロゴステッカーを貼ることも効果があると思う。

## 9 そ の 他 傍聴者無

## 10 問い合わせ先 港湾空港局 総務部 総務課 経理・経営係（電話 093-321-5916）